

銀翼連ねて

（一空事件）

羽黒アキ

令和四年六月二六日

あらすじ

昭和16年12月12日、開戦5日目。台湾よりフィリピンを攻撃した第11航空艦隊第21航戦第1航空隊、原田機。攻撃中に対空砲火を浴びて不時着してしまう。不時着した場所には抗日ゲリラがおり、自決もままならぬまま連行される。

23日後、彼らは陸軍部隊によって救助されるが……。

登場人物

全員男性。

原田 原田武夫一等飛行兵曹。主操縦士。

徳田 徳田秀利一等飛行兵曹。副操縦士。

白井 白井嘉孝二等飛行兵曹。主偵察。

松本 松本真実少佐。飛行長。

大西 大西瀧治郎参謀総長。後に特攻の生みの親と言われる。

坂井 坂井三郎一等飛行兵曹。零戦を駆り、後に伝説の撃墜王となる。

将官 司令部の将官。

ガヤ3名程度。原田、徳田、白井以外の人が兼役可。個別に役者がついてもちろん大丈夫です。

利用規定

ニコ生、ツイキャス、声劇会議で純然たる趣味として演じられる場合は報告不要です。その他の場合は一報ください。

録音・録画される場合は、完成品を頂けると非常に励みになるばかりではなく、場合によっては次作へのインスピレーションとなるため非常に喜びます。また、――居ないとは思いますが――**有償案件に用いられる場合、営利活動の一環として演じられる場合は著作権使用料が発生しますので必ず事前にご相談ください。**

作者連絡先

Skype: gioseffo

Discord: ノキ#5530

LINE: ex.parrrot

Twitter: @Aki_HAGURO

メール: aki.haguro@gmail.com

だいたい掲載順に気づきやすいです。

1 昭和16年12月12日、開戦5日目

1・1 フィリピン

台湾から発進した九六式陸上攻撃機の編隊が、フィリピンを攻撃している。

原田 水平爆撃進路よし。ようそろ、ようそろ、とうだん投弾っ！

投下された爆弾が命中する。

原田 命中認む。

徳田 機長、右後方より対空砲火。回避を。

対空砲火のうちの一発が、翼に命中する。

原田 被弾したか、損害は？

徳田 2番エンジン停止、燃料漏れもあります。

原田 基地までは帰れそうか？

徳田 無理そうです。最期は武人らしく突撃しましょう。

原田 いや、だめだ、いちひそう徳田一飛曹。参謀総長は決して早まるなどおっしゃった。何よりも戦う人員を減らさぬことが肝要だと。かんよう不時着できる場所を探すぞ。

高度を下げる原田機。やがて、適当な平地を見つけて不時着する。

しかし、不時着した場所にはこうにち抗日ゲリラが待ち構えていた。

原田 ……止まった。発動機1番停止確認。みんな、怪我はないか？

徳田 はい。みな皆無事のようです。

白井 機長、こうにち抗日ゲリラです。

原田 なんだってこんな時に……。

原田機を取り囲むこうにち抗日ゲリラ

原田 いいか、みんな。抵抗はするなよ。生き延びることだけを考えろ。

1・2 司令部

松本飛行長が戦闘結果を報告している。

松本 ……また、第一航空隊の原田機は、僚機りょうきの報告によると不時着とのことです。
大西 生存確認はできているのか？
松本 不時着となれば当然自決でしょう。全員戦死ということでもよろしいかと。
大西 ううむ……。

2 23日後

2・1 司令部

松本 以前、不時着したと報告があった第一航空隊原田機の8名ですが、生存していたとの報告が入りました。

大西 おお！

将官 しかし大西君。これはちよつと困ったことになったぞ。

大西 と、おっしゃいますと？

将官 既に戦死報告も出しておる。また、敵の虜囚りょしゅうとなったなど武人の面汚つらやいしである。

松本 たしかに仰おっしゃるとおりです。ここは一つ内密に事を運びませんと。

大西 まあ、そう言わずに。この戦い、戦える人員を減らさぬことが肝要かんようだと訓示した私の身にもなつてくださいよ。

既に戦死扱いとなつているのだから、新たな戸籍と名前を与えて、一生面倒をみてやればいいじゃないですか。

将官 本気でそのようなことができると思つているのかね？

大西 むう。では、どうされるおつもりで？

将官 階級章は剥奪はくだつ。そして可及かきう的速やかに新たな死に場所を与えてやるのが良いだろう。

2・2 下士官室

多数の下士官かしかんが原田以下8名について陰口を叩いている。

ガヤ1 原田機のやつら、虜囚りょしゅうの辱はずかしめを受けノコノコと帰ってくるなど、武人にあるまじきことだ。

ガヤ2 下士官かしかんの面汚つらやいしめ。

ガヤ3 一空の名折れだ。

白井二飛曹にひせうが泣きそうな顔で原田一飛曹いちひせうに話す。

白井 機長、もう耐えられませんか。早く死なせてもらいたいです。

6 原田 ここは耐えろ。大西参謀総長のお言葉に従ったのだ。悪いようにはなるまい。
徳田 そうだ、ここは機長の言う通りにしよう、な？

3 司令部

3・1 昭和17年2月20日

松本 ……というわけで原田。貴様の機はアンボン基地からチモール島に降下する落下傘部隊の護衛として、第2分隊第3小隊2番機として出撃しろ。

原田 わかりました。

松本 武人としての死に場所を用意してやったんだ、無駄にするなよ。

原田 はい。

3・2 チモール島

原田 投弾……命中認む。福留大尉に続くぞ。

徳田 はい。

原田 重い陸攻で何度も低空で銃撃……これは、対空砲火に当たって死ぬということか。

徳田 機長！

原田 どうした？

徳田 分隊長機被弾の様。墜ちていきます。

3・3 下士官室

福留大尉戦死の報を受け、下士官が陰口を叩いている。

ガヤ1 福留大尉が死んで、なんであいつらが戻って来てるんだ。

ガヤ2 死に損ないが。

ガヤ3 死んでこいと言われたならさっさと死んでくればよかったんだ。

4 昭和17年3月23日

4・1 司令部

松本 ポートモレスビー偵察を命じる。今度こそ自爆してこい。零戦3機を掩護という名目ですける。皆が見ている前で散ってこい。

原田 はっ。

4・2 駐機場

坂井 掩護の名目で出撃しておきながら、自爆を確認してこいだって？ 冗談じゃない。俺たちがついている以上、敵戦闘機に体当たりしてでも、原田機だけは墜とさせないぞ。

原田 そうは言っても、もう生き地獄なんです。耐えられません。

坂井 無駄に死ぬな。君たちは俺たちが必ず守る。頑張れ。

4・3 司令室

松本 ポートモレスビーの対空砲火は強烈です。きつと死ぬることでしょう。

大西 やっぱり考え直しませんか、みなさん。今、兵たちが無駄に死ぬ余裕はありませんぞ。

将官 敵の虜囚となった者など、既に兵ではない。死なせてやるのが一番いいんだ。

電話が鳴る。

松本 はい、司令部松本。……。

……原田機が生還したそうです。

5 昭和17年3月29日・下士官室

白井が短刀を持ち、切腹しようとしている。

白井 もうここで腹を切らせてください。死なせてください。お願いです！

原田 早まるな白井二飛曹！「今日の偵察がうまくゆけば、司令部は捕虜のことを帳消しにしてくれるかもしれない」と、自分で言っていたではないか！

白井 お願いです機長、死なせてください。これ以上、戦友からも白い目で見られ、生き恥を晒すのは嫌なんです。

徳田 最期の最期まで諦めるな。きつと何か道はある。

白井 もう限界なんです。お願いです、死なせてください。

原田 ここで死んでもそれはただの逃げだ。敵とやりあって死ぬのとはわけが違う。

白井 機長……。

6 昭和17年3月31日

6・1 司令室

松本 ……。原田機長以下八名は、単機発進してモレスビーを爆撃せよ。

原田 ハッ。

原田 M ついに来たか……。

6・2 駐機場

原田 最後のサイダーと、煙草たばこだ。しっかり味わっておけ。

白井 機長、いよいよ……。

原田 ああ、単機で爆撃してこいと、言ってしまったえば自爆命令だ。

白井 やっと死ねる……。

徳田 美味しいですね、サイダー。

6・3 ポートモレスビー

原田 全弾投下完了。司令部に打電だ。

徳田 はい。

原田 「爆撃終了、全弾命中。一一五五レヴヴ」

原田 「敵地上空、天候晴レ、高度300。我々ダ今ヨリ自爆ス。」

終劇

あとがき

Wikipediaで一空事件を知って、書いてみたくなりました。が、資料が少なくて四苦八苦。自分の脚色力というか、想像力の無さに絶望しますね。

「演じてみた」報告は不要ですが、頂けると励みになります。また、演じた際の録音などを頂けると、飛び上がって喜ぶばかりか、それ自体がアイデアの源泉になったりもします。

最後になりましたが、この本に対する誤字脱字、読みにくい、つまらない等のご指摘は、左記にお願いいたします。

Skype: gioseffo

Discord: へギ#5530

LINE: ex.parrrot

Twitter: @Aki_HAGURO

メール: akio.hiyoshi@gmail.com

だいたい掲載順に気づきやすいです。